

**自治体しがの仲間**

発行責任者 滋賀県自治体労働組合総連合(滋賀自治労連) 委員長 清水庄次  
〒520-0051 滋賀県大津市梅林1丁目3番30号 電話077-527-5511/FAX077-527-5522  
2019年3月1日 No.290



春闘要求実現へ団結ガンバロー(中央委員会)

基調講演で岡田先生は、  
第一次安倍内閣からの道州  
制推進体制を解き明かし、  
自治体消滅論の増田レポート  
から「自治体戦略2040」への動きになつてゐました。その前提とし  
ました。

京都大学大学院教授  
岡田 知弘さん

ている「自治体消滅論」は、  
若い女性の数だけを基準と  
した虚構であり、東京への  
一極集中、不安定就労の拡  
大が人口減の要因であると  
されました。そして、小さ  
くても輝く自治体が、内発  
的な産業やコミュニティの  
再生により人口を増やして  
いる事例から、改めて「住  
民福祉の向上」こそが、地  
域作りと日本再生の本筋で  
あるとされました。

## 近江八幡市

率64%で圧勝。85対15の  
票を獲得し、得票

力関係をひっくり返しま  
した。

を含んだ新しいスタイル  
の運動と言えるもので、  
まさに画期的な市民運動  
となりました。安土、岡山、  
北里学区では署名数が有  
権者の20%を越えました。  
「こんな豪華な庁舎はいら  
ない。私たちの意見を聞  
いてほしい」と、若い人々  
が自覚的に参加し、署  
名を次から次へと際限な  
がら広がりました。

住民自治と日野の街づくりを実感  
自治労連近畿ブロック女性部総会・学習会

2月11日ひなまつり紀行が開催されている日野町で自治労連近畿ブロック女性部の総会・学習交流集会が開催され、滋賀自治労連から10人、

全体で42人が参加しました。日野町長の「軽トラ町長奮戦記」の話には「こんな自治体があるんだ」と感想が出され質問が相次ぐ盛り上がりで、おひなさまが飾られた日野の街とともに住民自治のあり方を実感する機会となりました。



## 行政の私物化ゆるさず、大幅賃上げの春へ!

2月16日(土)、滋賀自治労連は2018年度中央委員会を県教育会館で開催。昨秋以降の運動を総括するとともに19春闘の運動方針を確立し、「安倍改憲反対」「行政の私物化ゆるさない」「労働者・国民の手による本物の春闘で、大幅賃上げ実現をめざそう」「統一地方選挙や参議院選挙で暮らしこそ政治を変えよう」と意思統一を図りました。

午後は、中央委員会の学習会の位置付けで「第18回滋賀地方自治研究集会」に取り組みました。

若さいかし活気ある  
組合活動がんばる

組合員173人中78人が青年という若さをいかし、活力ある組合活動に期待している。19春闘では2017年度から取り組んでいる時間外勤務実態調査なども材料に、賃金アップ、人員増、人材育成を19春闘で頑張りたい。(日野町職労 仲上秀樹さん)

## 労働契約法無期転換ルール声をあげていく

職場は指定管理者制度のもとで運営されているため、さまざまな課題と直面している。当面の最重点課題は、労働契約法の無期転換ルールをフル活用して活動を進めているが、当局は、無期転換した労働者を現行の65歳から60歳定年へと改悪提案をしているので、職場から改悪反対の声をあげていく。(安土文芸の郷職員協議会 小川康子さん)

みんなで力を合わせることの  
喜びと大切さに感激

近畿ブロック女性部の定期総会を日野町で開催することになり、滋賀自治労連女性部として「おもてなしの気持ち」で取り組んだ。近江八幡駅で「ようこそ滋賀へ」と出迎えることと、日野町に到着したらもう一度「ようこそ日野町へ」と、二度お出迎えをされると、自分なら嬉しいだろうなという気持ちを大切に仲間と力を合わせて取り組んだ。近畿各府県や本部から42人の参加で総会は大成功。私はこの3月末で定年を迎えるが、最後の大仕事でいつもみんながやってくれていることの大変さが分かり良かった。また、参加者のみなさんに喜んでもらえて嬉しかった。(滋賀自治労連女性部 正木ますみさん)

## 市民との協働で未来を切り拓こう

大津市・公務職場の民間委託や統廃合の問題  
支所機能の見直しと公民館のコミュニティセンター化

## 大津市労連

2017年11月に示された「大津市市民センター再編素案」では市内36支所を10か所に減らし、公民館はすべて地域運営の「コミュニティセンター」と移行する。職員から怒りの声があがりました。「36支所残せ!」の声のもと、市民と労働組合の協働によって1年後に支所機能を廃止するという市長の強行はいったんストップさせました。

「36支所残せ!」の声のもと、市民と労働組合の協働によって1年後に支所機能を廃止するという市長の強行はいったんストップさせました。しかし、市当局は、本庁・支所の開庁時間縮小を理由に、会計年度任用職員制度移行時には勤務時間を短縮(週37・5h→35h)の

ました。しかし、次に「よ

りよい案」として再提示さ

れた「市民センター機能等

のあり方実施案」は、36支

所は残るもののは基幹支所11

## 第18回滋賀地方自治研究集会

住民運動は地方自治を担い  
参加する人を育てる岡野 道博さん  
自治労連  
近江八幡市職員組合住民運動は地方自治を担い  
参加する人を育てる

市民の安全・安心の暮らしを支える支所の存続を求め、市民ら40人が大津市役所前で訴え。(2/13 朝8時頃 大津市役所前)



◎卒業式に向けてサクラソウのつぼみがふくらみ、ところどころで小さなピンクの花が顔を出しました。  
(伏木エリ子 大津市労連)

◎最近、手動のコーヒー ミルを買いました。自分豆を挽いて楽しんでいます。  
(西井洋平 滋賀県職)

◎二十四節季の中で最も早く来てほしい」と願うのが「雨水」。しかし、今年は雪がほとんど降らず幸運が続っています。  
(長坂幸一 滋賀県職)

◎家族でスキーに行つてきました。もう一回ぐらい行きたいけれど、雪が…。  
(菊地智子 日野町職労)

▶滋賀自治労連ホームページは  
こちら



## 言いたい劇場 小菅りや子



◎平和は続くよろしく平成は終ゆうす。  
横井克彦(大津市労連)  
藤居清(滋賀県職)  
『289号のパズル』(一次  
次締切当選者)  
松田宏美(大津市労連)  
伏木エリ子(大津市労連)  
菊地智子(日野町職労)  
『前号の正解』  
ジユケンセイ

# ゆるさない 賃下げ 雇用は3年まで



滋賀県職員組合

県では2月8日に下記の内容を基本に組合への提案がありました。が、新たな賃金の上限設定で賃下げとなつたり、雇用の4回更新を2回に改悪するなど、法律改正の趣旨にも反する基本的な問題があり、職場議論や要求署名運動を行つています。当局は6月議会に提案予定としています。

**制度移行時の任用 原則公募**

**再度の任用** 勤務実績等による能力実証を経て連続して2回までの任用は可

**職務と報酬**

区分	会計年度任用職員A	会計年度任用職員B	会計年度任用職員C
想定される職務内容	特に資格・免許を必要としない、事務補助を含む定型的な職務	資格・免許を必要とする職務	短期や職務の性質上継続雇用を要しない職務
報酬の上限額	・大卒の初任給基準額相当 ※大卒の初任給基準額のない、技労職は高校卒相当 (例) 行政職1級 52号給相当(地域手当加算後月額199,735円)	大卒の初任給基準額に経験6年を加算(主事級相当) (例) 行政職1級 52号給相当(地域手当加算後月額233,275円)	正規の試験によらない高校卒の初任給基準額相当 ※技労職は中学校卒相当 (例) 行政職1級 5号給相当(地域手当加算後月額158,132円)

(※) フルタイムは置かず全てパートタイム会計年度任用職員とし、報酬額および上限額は、上記の額に、1週間当たりの勤務時間/38時間45分を乗じて得られる額となる。

(※) 行政職以外の職員については、行政職の考え方を基本とする。

(※) 国が定める一部の職について、個別に定額で支給する可能性がある。

**期末手当** 6ヶ月以上の任用かつ週15時間30分以上勤務者を対象に支給

**休暇制度** 国の非常勤職員の休暇制度との均衡を図るべく、これを基本としながら、現状の非常勤嘱託職員の制度を考慮。

※(組合注1): 現在の非常勤嘱託員より改善する制度  
・私傷病特休: 週1日勤務の方も可に  
・育児時間休暇: 男性も取得可に  
・忌引休暇: 月16日 or 週28h45h以上の要件外し  
・結婚休暇: 0日→5日  
※(組合注2): 「有給の私傷病特休」は改善への言及なし。

**応募方法**

ハガキ又はFAXで。答  
大津市梅林一丁目3-30  
住所、氏名、単組名、職  
場のできごと、話題、家族の  
たよりなど、ひとことお書き  
ください。(匿名不可)

FAX 077(527)5522  
(二次締切)3月14日(木)

正解者の中から抽選で図書カードを進呈。(一次締切日を過ぎて郵送された方にも当選権有り。二次締切当選者は翌々月号に発表)  
し(二次締切)3月29日(金)  
『289号のまちがいさが



## 会計年度職員制度で不当な提案

2020年度からの会計年度職員制度の導入にあたり、大津市や県では当局提案が出されました。フルタイムをパートに移行、賃金の引き下げ、更新回数の制限などで、法の趣旨に反する処遇の切り下げを提案するなど、職場では「これは許せない」と怒りの声で見直しを要求する運動が各組合で広がっています。

この間、2回の総務部長交渉を実施し、今年度中の制度構築にむけて労使協議を行なっています。当局の素案では、正規職員と同様の職務を担っている多くのフルタイム勤務の臨時・嘱託職員の勤務時間を一律に35時間以内にするなど、諸手当を加味しても年収ベースで賃金水準が下がってしまう職種など非常に問題点の多い内容となっています。交渉では多くの参加者から怒りの声が上がり、提案内容の見直しを要求しています。

**制度移行時の任用** 原則として、ハローワーク・HP等を通じた公募

**再度の任用** 人事評価等を活用し、客観的な能力実証を行ない決定するが、公募によらない再度の任用は、2回まで(通算3年)

- ・職種ごとに行政職、福祉職、教育職、医療職の給料表に位置付ける(主に1級を使用)
- ・再度の任用時に昇給加算あり1年にき4号昇給を2回まで
- ・初任給の位置づけ時、嘱託と一部の臨時は前歴換算あり

**期末手当** 6ヶ月以上の任用かつ週30時間以上勤務者を対象に支給

**勤務時間** 35時間の範囲内

- (変更点のみ記載、いずれも現行より取得日数等が改悪)
  - ・年次有給休暇…初年度付与日数10日以内(勤務形態に応じる。1年ごとに加算、最大20日)
  - ・私傷病休暇…週30時間以上勤務 有給10日 無給80日
  - ・産前休暇…無給6週間以内

＼オスプレイを日本の空に飛ばすな /

2月3日、「日米合同演習反対! 2・3あいば野大集会」が開催され、350人を超える参加者が「平和と安全を守れ」と怒りの声を上げました。集会では「自衛隊を海外殴り込みの軍隊にするな」「航空法違反の危険なオスプレイが日本の空を飛ぶのは許されない」「81mm迫撃砲誤射・民間車両破損事件など狭い演習場で実弾訓練などできる場所ではない」と訴えがありました。生憎の雨の中、県内・近畿などと訴えがありました。



各地から駆けつけた参加者は、今津駐屯地に向けて市街一周怒りのデモ行進を行なっています。沿道の店先からは必死に訴えるデモ隊に、手を合わせる市民の姿も見られ、「合同演習反対・オスプレイ殴るな!」の声が大きくなりました。

## 日米合同演習反対あいば野大集会開催

### 「保育士が、保育は楽しいと言えないことが問題」

1月19日(土)、滋賀県自治体労働組合共闘会議保育連絡会は、草津市民交流プラザで「第22回保育フェスタ」を開催し、約30人が参加しました。前半は各組合の取り組みや経験を報告し、後半は5つのグループに分かれて交流。人員不足や長時間勤務・サービス残業、さらには民営化問題など日々の悩みや職場の課題などについて交流しました。現場の保育士からは、「保育士が、保育は楽しいと言えないことが問題」「4、5か月前から有給申請していても、先生ゴメンと言われる」など、リアルな現状と課題が報告されました。

